大河小だより

小川町立大河小学校
令和７年６月２７日　第１１号
文責　校長　宮澤　忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越２０９　Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】　○ 自ら学ぶ子（知）　○ やさしい子（徳）　○ たくましい子（体）
【年間生活目標】　「あいさつを広げよう」　「健康な生活を心がけよう」
【６月の生活目標】　「時こくを　まもろう」

自主学習でも「振り返り」に取り組んでいます

４月に子供たちへ「目標」の大切さに触れ、「自分で立てた目標を達成するために努力したことは、たとえ結果が目標の達成に届かなくても、むだにはなりません。その努力の過程は必ず自分の成長につながるからです。」と話しました。この「目標」とセットで重視したいのが、今回話題にする「振り返り」です。

振り返り活動は、主に毎時間の授業の終末や、行事が終わったあとに行います。「自分の取組はよかったのか、そうではなかったのか」「どうしてうまくいかなかったのか」「次はどんなことをがんばるか」など、振り返りのテーマによって多少の違いはあるものの、そのメリットは次のことが考えられます。

- 子供自身が、何を学んだのか、何ができるようになったのか（ならなかったのか）を確認することができる。
- 自分の成長が自覚でき、満足感や充実感を味わうことができる。
- 自分の問題点への気付きをうながし、改善する方向に気持ち向けることができる。
- 次の学習への意欲を高めることができる。

また、本校の校内研究の中でも取り組んでいる一つとして、１学期は「今週の学習を振り返り、自主学習ノートで校長に伝えてほしい」という課題を出しております。

１週間の学習を振り返り、書くことに少しずつ慣れてきており、２学期はさらに発展させていければと考えております。

さて、「振り返り」は、学校の学習だけでなく、各ご家庭においても実践できます。まず、１日の中で振り返りの時間を設定します。次に、振り返りの質問を決めておきます。例えば、「最近『楽しいな』と思った出来事は何ですか？なぜ楽しかったのでしょう？」、「新しく気付いたことや学んだことは何ですか？そして『意外だな』と思ったことや、新しく発見したことは何ですか？」といった質問を、子どもたちに投げかけてみてください。

繰り返し、習慣化することで子どもたちに「振り返り」する力がつき、自身を向上させる力がつくと思います。また、このことにより子どもたちが自身の成長をより実感し、自己肯定感を高めることができます。

保護者の皆様、子供たちもの忙しい中、また、「最近、学校の話をしてくれないのよ」とこぼされている保護者の方の声も聞きます。ぜひ、ご家庭でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

竹沢小学校との交流会

６月２３日（月）、１年生から４年生の児童が２、３時間目に竹沢小との交流学習を行いました。当日は、竹沢小学校の児童が行政バスを利用して大河小まで来てくれました。

各学年とも、楽しいゲームをしながら交流を深め、あっという間に時間が過ぎてしまったようでした。

今年度はあと２回、計画をしております。令和９年度に大河小と竹沢小が統合されることで早い段階から児童と交流する機会を増やしていきたいと考え計画をしております。児童にとっても、よい経験となっています。

それぞれの特色を生かしながら、お互いを尊重し、共に伸びる大河小・竹沢小の児童を育成できればと考えております。

ザリガニ釣りを行いました（２年）

６月２４日（火）２年生が学校近くの用水路でザリガニ釣りを行いました。用水路にエサのついた糸を垂らすと、ザリガニがエサをつかむので釣ることができます。この日を楽しみにしていた児童も多く、気持ちが高まる時間になりました。

この取り組みには、防犯パトロール隊の皆さんによるご協力があって成り立っております。大河小の児童のためにありがとうございます。

社会科見学に行きました（６年）

６月２５日（水）６年生が社会科見学で国会議事堂を訪れました。普段、テレビなどでよく目にする国会議事堂がバスの車窓から見えると、「おーっ！」と歓声が上がりました。今回は参議院を見学しました。実際に国会の中に入ってみると、その大きさや天井の高さ、造りの豪華さに驚きの連続でした。

国会見学の後は、科学技術館で様々な体験をしながら科学の不思議を感じ取りました。車のシュミレーター運転、視線の動きを自動的に読み取る技術、シャボン玉の中に入る世界などを楽しみました。